

テーマ2 「ごみの減量と資源化」全体のまとめ

分 類	減 量	資 源 化
教 育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども（学校関係者）に教育する。 ※親は子どもの言うことを聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家の中で、分別の種類ごとにごみ袋を分ける。 ・ 紙ごみの資源化を徹底する。 ※感熱性発泡紙など、資源にならないものを周知する。 ・ 裏紙の利用（パソコンなどで） ・ 年間通してきていない服は、資源としてまめに出す。
買 い 物	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画的に買う。 ・ 要らない物は買わない。 ・ 安いからと買わない。 ・ 買いだめをしない。 ・ まとめ買いをしない。 ・ 包装がシンプルなものを選んで買う。 ・ 食品の量り売りの推進 ・ マイバッグを持参する。 （⇔レジ袋は、ごみ袋にちょうどいいので欲しい。） ・ スリムストアーの拡張 	<ul style="list-style-type: none"> ・ トレイ、パック等は、スーパーに置いてくる。 ・ 家電は、できるだけリサイクル店に持って行く。 ・ 詰め替え商品を選んで買う。 ・ 店が資源を回収し、回収時のポイント制を促進する。
調 理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作りすぎない。 ・ 大皿より各々皿に盛りつける。 ・ 使い始めの日付を入れる。 ・ 無駄のない調理を工夫する。 ・ 生ごみの水切りの仕方を紹介する。 ・ 食べきれない時は、人にあげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食施設からのごみを飼料化する。 ・ 葉物の葉はスーパーにおいてくる。 ・ 集積所にコンポストを置いて、生ごみを資源化する。

外 食	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外食の食べ残しは持って帰る。 ・ 食べられそうにないときは、店に行って量を少なめに盛り付けてもらう。 	
集積所		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「せん定枝は、ごみではありません。」と表示する。 ・ 問題があるときは、自治会に連絡する。
集合住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集合住宅への対応を厳しくする。 ・ 集合住宅に、指導員などが必要 	
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老人会の集まり等で、食べ残しを削減する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ごみ出しサポート隊」を編成して、分別指導や高齢者サポートを行う。
全 体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有料化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戸別収集をする。 ・ ペナルティーを科す。